

新日軽 ニューエクジス 傾斜タイプ カーゲートXK組立施工マニュアル

マニュアル番号 ME-1618

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為このマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。

※傾斜タイプは門柱セットに同梱の組立施工マニュアルではなく、本組立施工マニュアルを使用してください。

施工上の注意事項

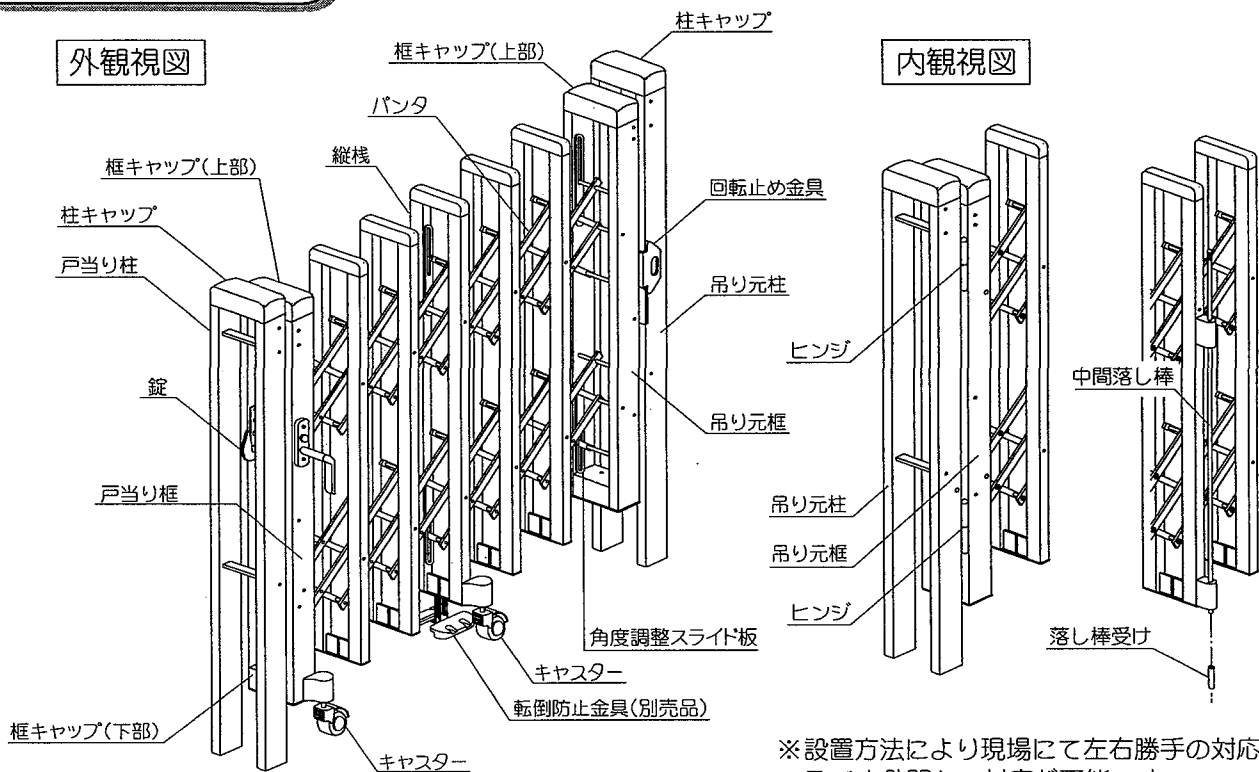
施工にあたっては次の点をご注意ください。

- ① モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれています為、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- ② モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中にアルミの表面に流れないようにご注意ください。
- ③ モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、硫酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- ④ 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
- ⑤ アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥ 腐食の恐れのある接着剤や化学製品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦ 寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。
- ⑧ 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ⑨ 養生期間は十分（5日以上）とってください。養生中は動くことの無いようにご注意ください。
- ⑩ 錠・転倒防止金具・親子用ジョイント部材等の取付けは、各梱包内のマニュアルをご参照ください。
- ⑪ 施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。
- ⑫ みだりに改造しないでください。
- ⑬ キャスターの走行床面は、水平に仕上げてください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生することを表しています。		「必ず行なっていただくこと」を示しています。

姿 図



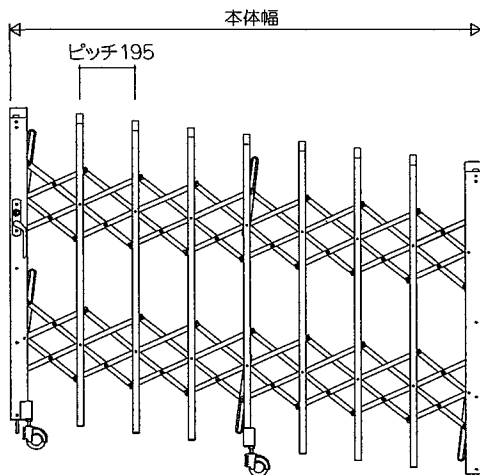
※設置方法により現場にて左右勝手の対応、及び内外開きの対応が可能です。

梱包明細

- 開梱時に次の品物がそろっているか確認してください。万一欠品などがございましたら、お買上げの販売店、もよりの営業所までお申し付けください。

部材名称	梱包内容
扉本体	扉 ① キャップセット ① 中間落し棒セット(規格寸法表参照) 組立施工マニュアル ① お施主様用手引き ①
門柱セット	門柱 ② (片開き・両開き共通) キャップセット ① 組立施工マニュアル ①
ヒンジセット	ヒンジ ① 裏板・ビスセット ①

本体寸法について



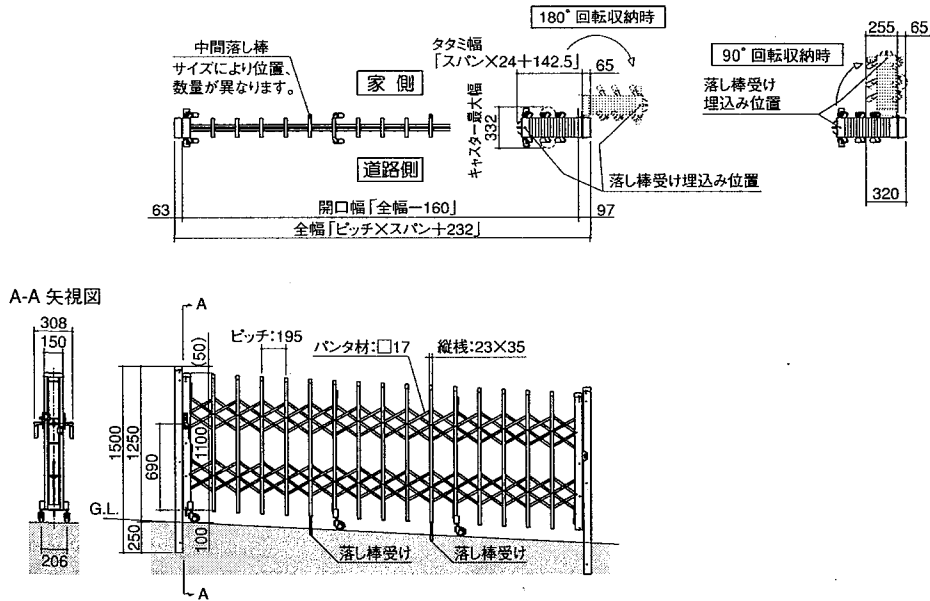
XK型

呼称	スパン	本体幅	本体 たたみ幅	中間落し棒 の数	転倒防止 金具の数
特寸	4	877	193	0	0
特寸	5	1072	217	0	0
特寸	6	1267	241	0	0
特寸	7	1462	265	0	0
特寸	8	1657	289	0	0
特寸	9	1852	313	1	1
特寸	10	2047	337	1	1
特寸	11	2242	361	1	1
特寸	12	2437	385	1	1
27S	13	2632	409	1	1
29S	14	2827	433	1	1
特寸	15	3022	457	1	1
33S	16	3217	481	2	1
特寸	17	3412	505	2	1
37S	18	3607	529	2	1
特寸	19	3802	553	2	1
特寸	20	3997	577	2	1
43S	21	4192	601	2	1
特寸	22	4387	625	2	1
47S	23	4582	649	2	1
特寸	24	4777	673	3	1
51S	25	4972	697	3	1
特寸	26	5167	721	3	1
特寸	27	5362	745	3	1
56S	28	5557	769	3	1
特寸	29	5752	793	3	1
60S	30	5947	817	3	1

納まり図・規格寸法表

※ 本図は外観視 右勝手・内開きを表します。

片開き



規格寸法表

XK型

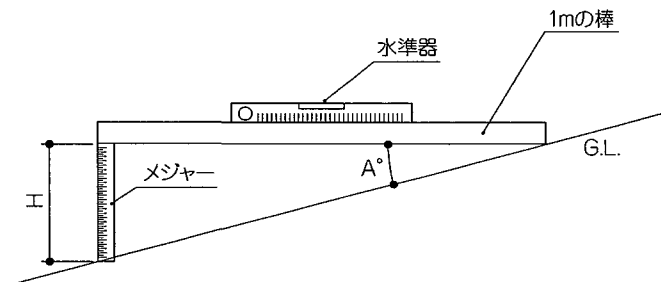
サイズ	全幅	開口幅	たたみ幅	中間落し棒の数	転倒防止金具の数
27S	2767	2607	454.5	1	1
29S	2962	2802	478.5	1	1
33S	3352	3192	526.5	2	1
37S	3742	3582	574.5	2	1
43S	4327	4167	646.5	2	1
47S	4717	4557	694.5	2	1
51S	5107	4947	742.5	3	1
56S	5692	5532	814.5	3	1
60S	6082	5922	862.5	3	1

参考

路面勾配計測方法

勾配路面に1mの棒を当て水準器などで水平を出し、H寸法を計測してください。

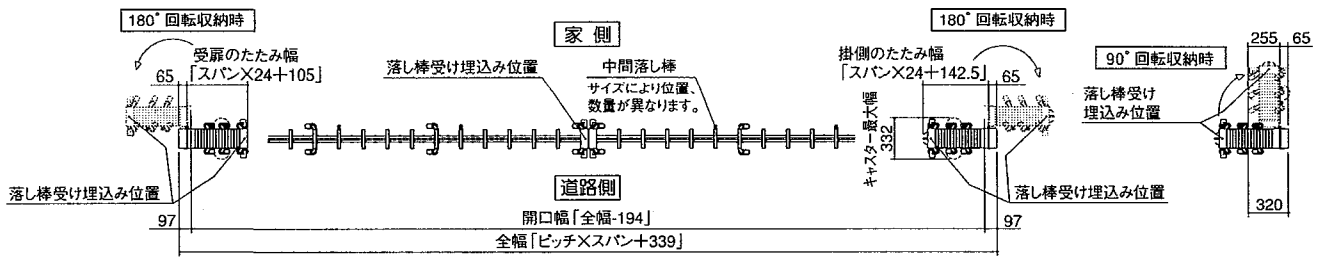
※ 下表は参考の数値です。床面の精度等により実際の数値と異なる事があります。



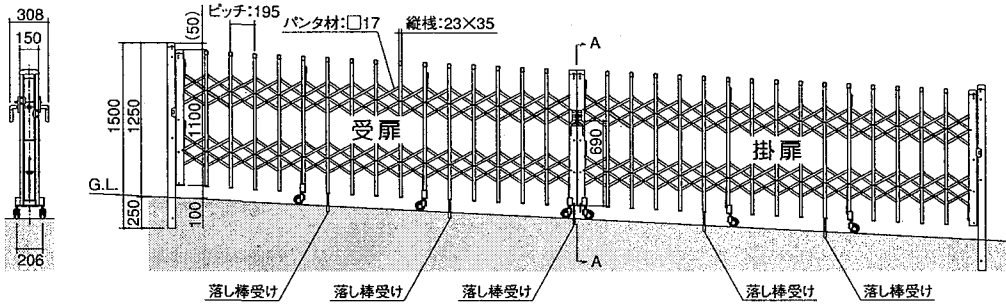
H寸法 (m)	概算角度 (A°)	H寸法 (m)	概算角度 (A°)
9	0.5°	70	4°
17.5	1°	79	4.5°
26	1.5°	87.5	5°
35	2°	96	5.5°
43.5	2.5°	105	6°
52.5	3°	114	6.5°
61	3.5°	122.5	7°

両開き(両開き親子)

※ 本図は外観視 右勝手・内開きを表します。



A-A 矢视图

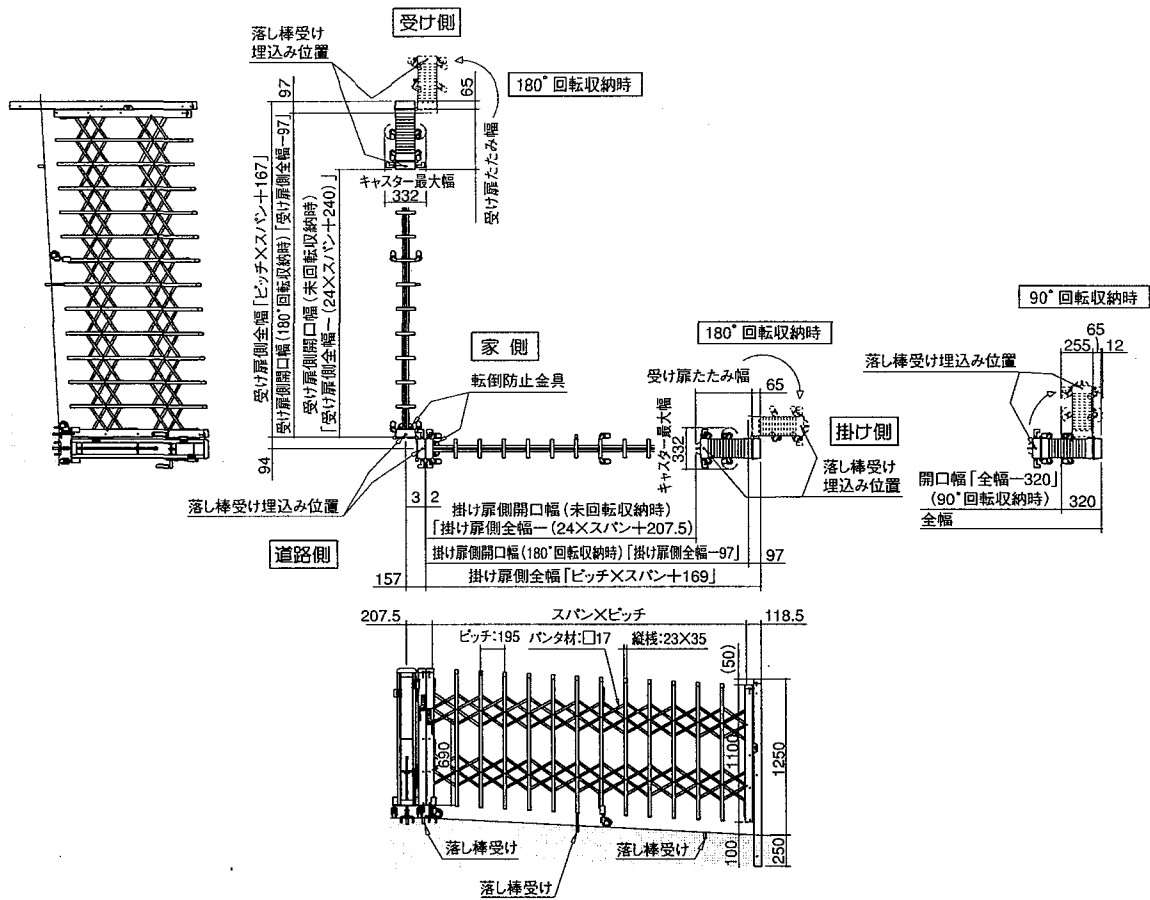


規格寸法表

XK型

サイズ	全 幅	開口幅	たたみ幅		中間落とし棒の数	転倒防止金具の数
			掛 扉	受 扉		
54W	5409	5215	454.5	417	2	2
57W	5799	5605	478.5	441	2	2
65W	6579	6385	526.5	489	4	2
73W	7359	7165	574.5	537	4	2

両開き角地



規格寸法表

XK型

サイズ	スパン	掛け扉側全幅	掛け扉たたみ幅	受け扉側全幅	受け扉たたみ幅	中間落し棒の数	転倒防止金具の数
54W	13	2704	454.5	2702	487	2	2
57W	14	2899	478.5	2897	511	2	2
65W	16	3289	526.5	3287	559	4	2
73W	18	3679	574.5	3677	607	4	2

施工手順

1 柱の埋設

※このマニュアルは、外観右勝手(右吊り元)内開きにて記載しています。

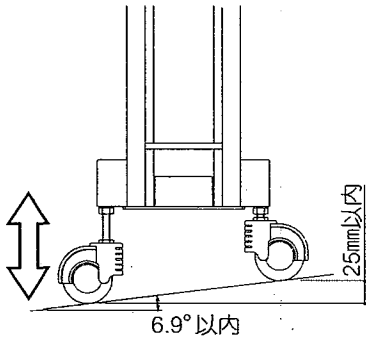
- ① 柱の埋込み位置を決定し(納まり図及び規格寸法表を参照)垂直を出し埋込みをしてください。
- ② カーゲート走行面は、なるべく水平に仕上げてください。
回転収納部の土間納まりや斜面納まりについては、図を参照の上整地してください。
- ③ 柱埋設してください。埋設後は、動くことのないよう、十分養生してください。

! カーゲート走行面は、平滑に仕上げてください。

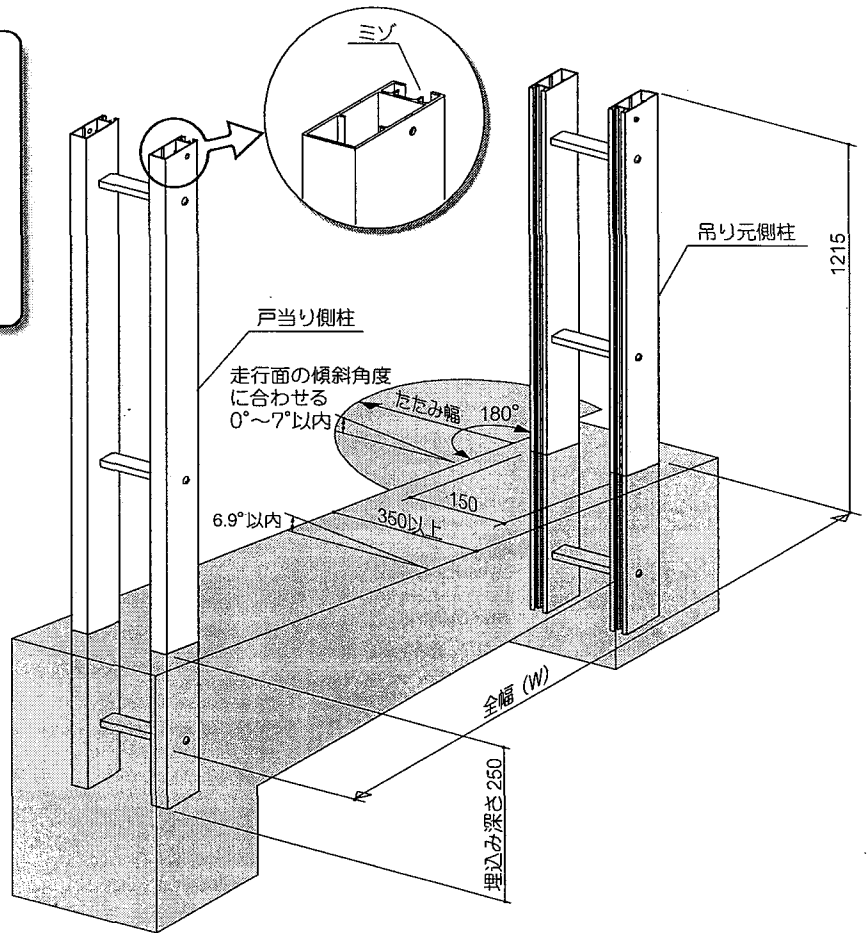


柱には、戸当り側・吊り元側の区別はありません。
柱の埋設は、設置の際の注意事項(下記)、納まり図および規格寸法表(P3~P5)を参照の上、行ってください。
全幅を規格寸法以上に広げないでください。また、埋設は正確に行ってください。

- 扉に対して内外方向に傾斜がある場合



- 片方のキャスターが浮くので上図の様にキャスターを調整してください。



設置の際の注意事項

- 回転収納時・ハンドル操作等に支障がない様、下記の寸法取り合いにしてください。

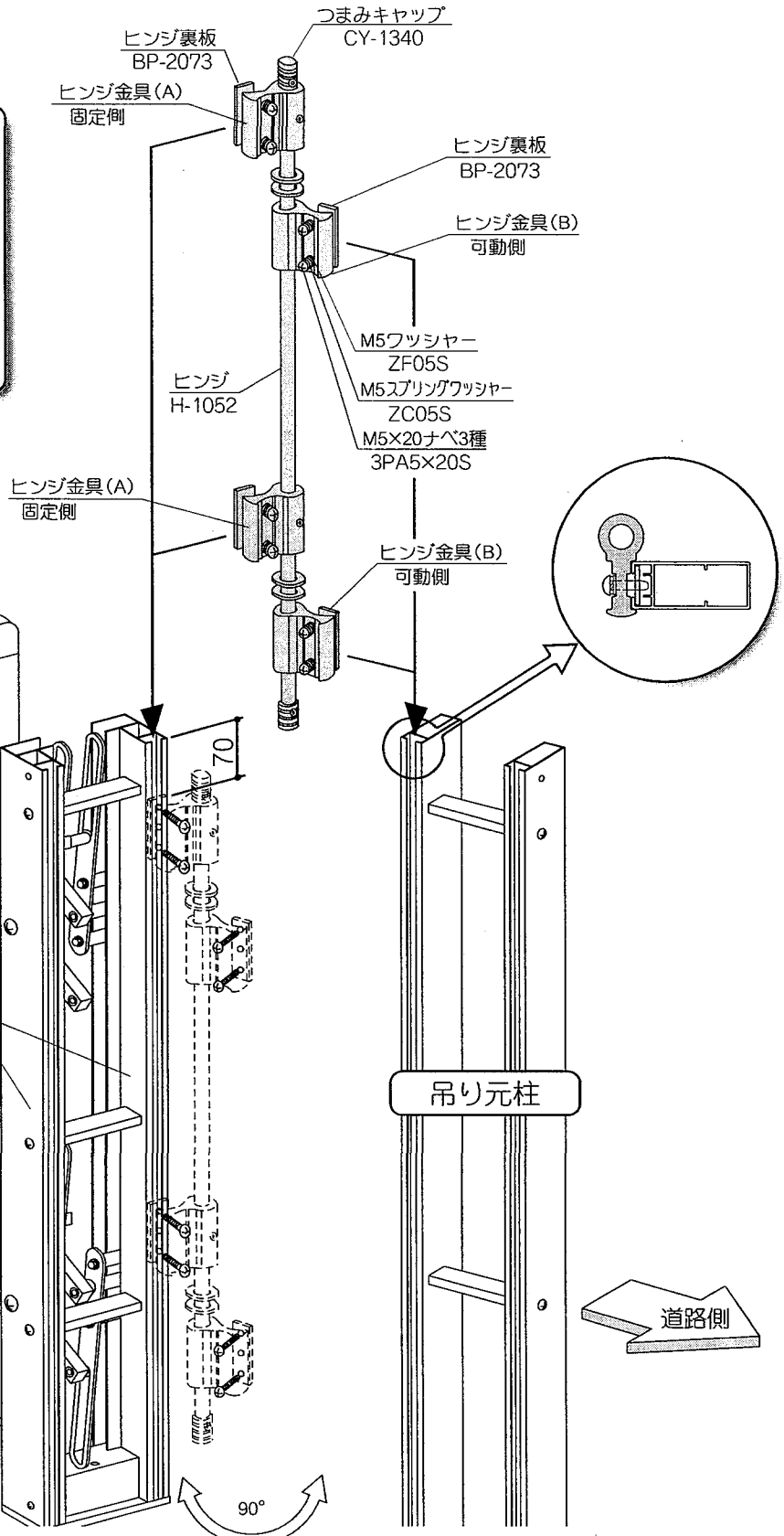
塀と直角になる場合		塀と平行になる場合	
戸当り柱側	吊り元柱側	戸当り柱側	吊り元柱側

2 扉の吊り込み

- ① 回転収納方向の確認を行い、ヒンジの向きを決定し、ヒンジに裏板をM5×20ナベ3種で仮止めしてください。ヒンジ金具(A)が扉側になります。
- ② 扉本体を吊り元柱に90°くらい回転させた状態で近付け、ヒンジを各々にスライド挿入し、上部より70mmの位置にてM5×20ナベ3種を締め込み固定してください。この時、ヒンジ金具AとBは密着させてください。

! 傾斜タイプの場合、特性上傾斜角度により扉下部からGLまでの寸法が変わります。工場出荷時には水平状態で100mmとなるよう取付けてあります。ヒンジ金具AとBは、上り勾配の場合は密着させ、下り勾配の場合は10mm程度離してからM5×20ナベ3種で締め込み固定してください。

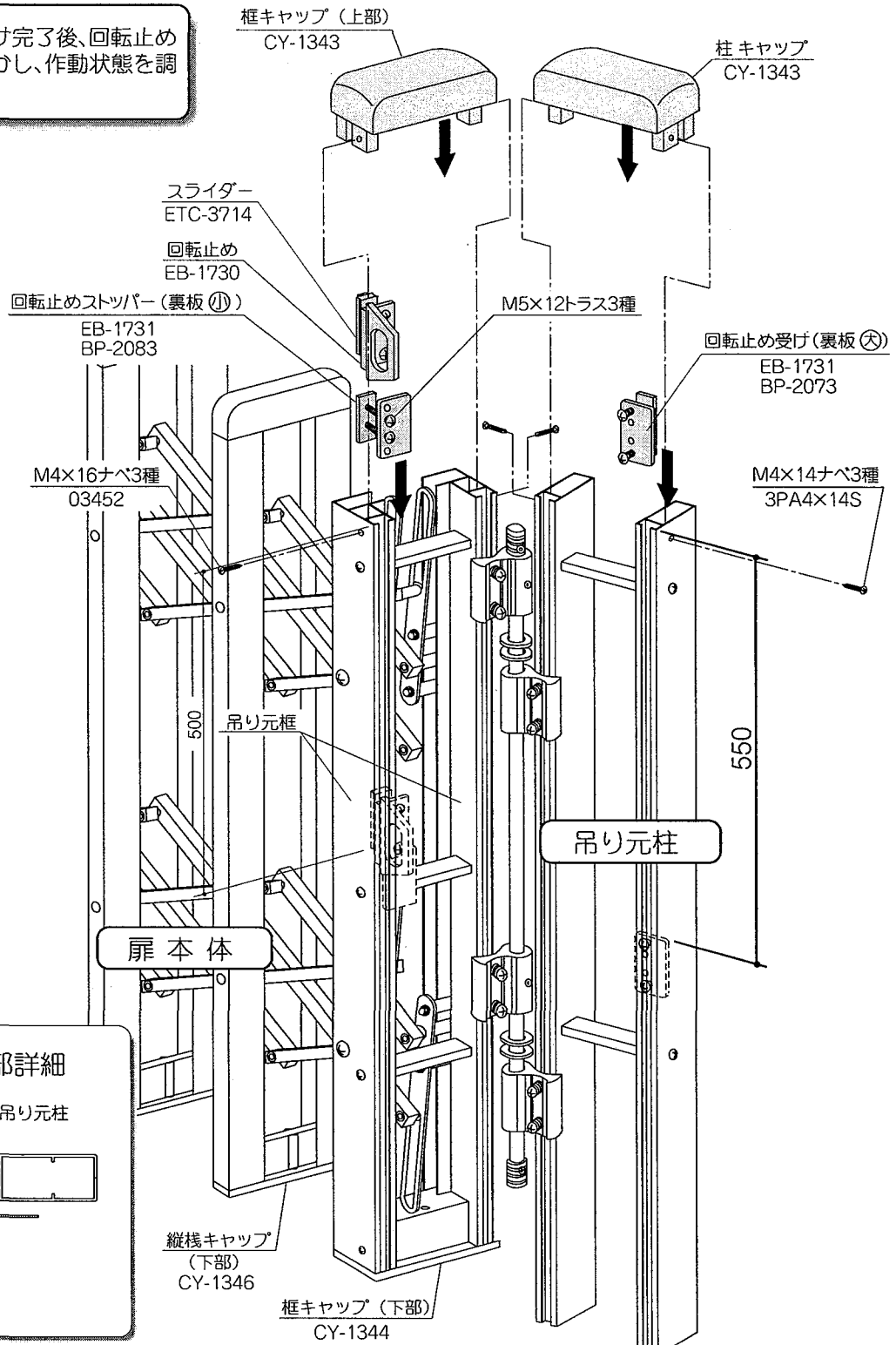
! 扉本体には、左右・親と子・掛けと受けの勝手はありません。



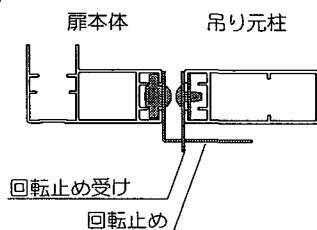
3 回転止め金具の取付

- ① 回転止めストッパー(裏板㊶)を吊り元枠の上端より挿入し、上部より150mmの位置にてM5×12トラス3種で固定してください。(金具の向きに注意してください。) 同様に回転止めを挿入してください。
- ② 吊り元柱に回転止め受け(裏板㊷)を上端より挿入し上部より200mmの位置にM5×12トラス3種で固定してください。(金具の向きに注意してください。) 部品取付け完了後、回転止め受けを上下に動かし、嵌合具合を調整してください。
- ③ 柱キャップをM4×14ナベ3種で取付けてください。枠キャップ(上部)をM4×16ナベ3種で取付けてください。

! 全ての部品取付け完了後、回転止め受けを上下に動かし、作動状態を調整してください。

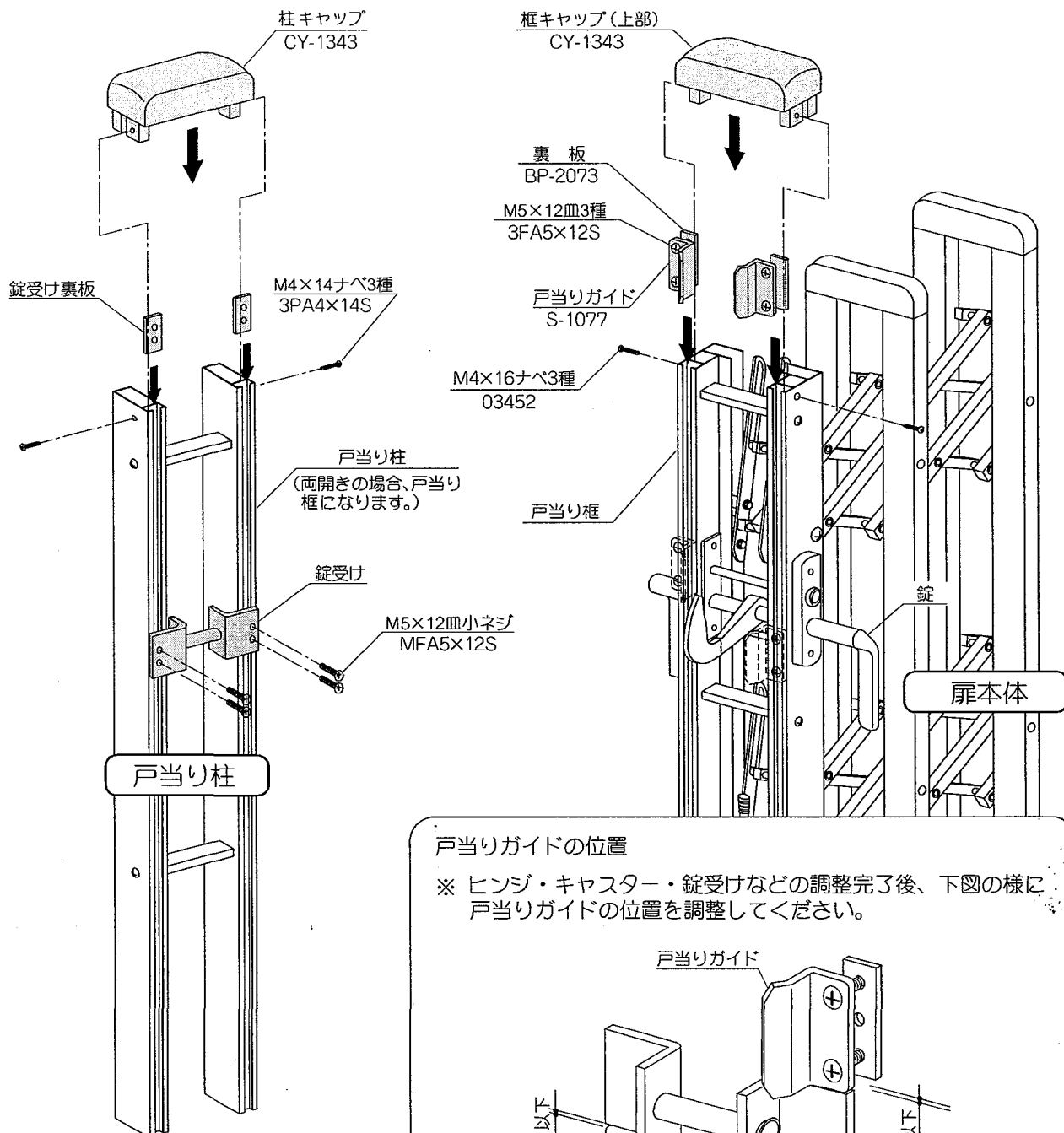


回転止め部詳細



4 錠・錠受け・戸当りガイドの取付

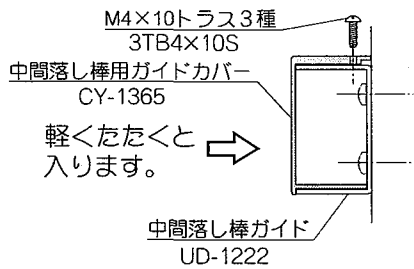
- ① 錠受け裏板を戸当り柱(両開きの場合は戸当り框)上部より溝にスライドさせ落とし込み、M5×12皿ネジで錠受けを仮止めしてください。
- ② 錠の取付けを行ってください。(錠セット梱包内のマニュアルを参照してください。)
- ③ 戸当りガイドを扉本体の戸当り框上部よりスライドさせM5×12皿3種で仮止めしてください。
- ④ 柱キャップをM4×14ナベ3種で取付けてください。框キャップ(上部)をM4×16ナベ3種で取付けてください。



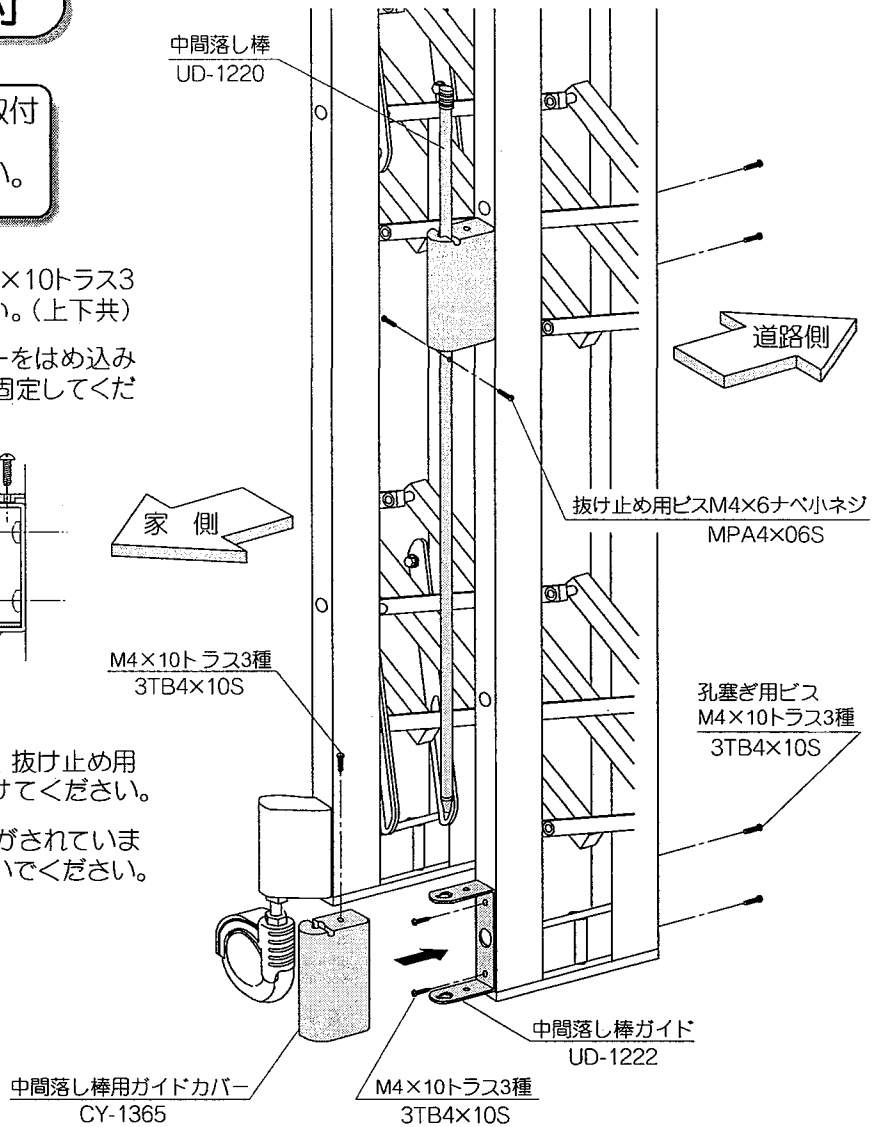
5 中間落し棒の取付

① タイプ・サイズによって取付数量は違います。規格寸法表を参照ください。

- ① 中間落し棒ガイドを家側にM4×10トラス3種で締めつけ固定してください。(上下共)
- ② 次に中間落し棒用ガイドカバーをはめ込みM4×10トラス3種で締めつけ固定してください。(上下共)



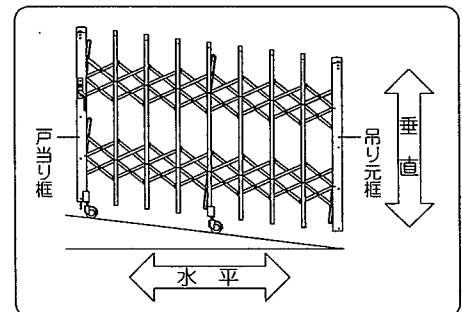
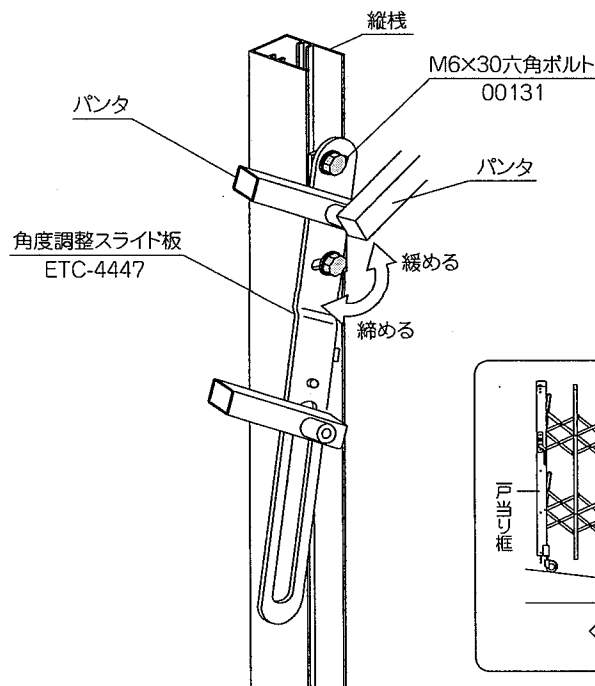
- ③ 中間落し棒を上から落とし込み、抜け止め用M4×6ナベ小ネジ2本を取付けてください。
- ④ 道路側に同様の取付け孔加工がされているので、M4×10トラス3種で塞いでください。



6 角度調整

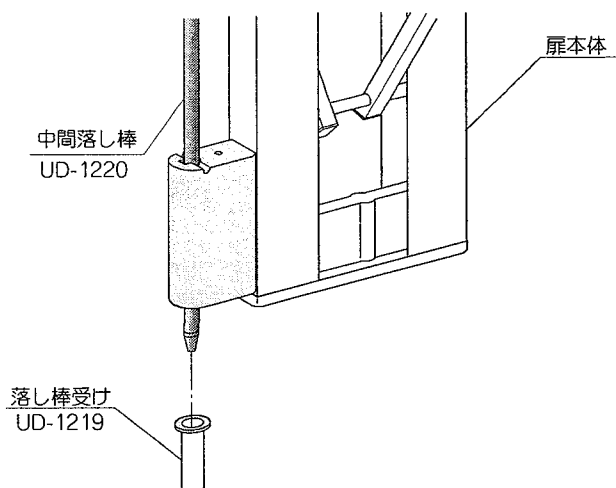
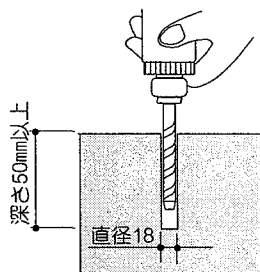
- ① 角度調整スライド板に取付けた2ヶ所のM6×30六角ボルトを緩め、扉を閉じた状態で戸当り框・縦棧が垂直になるようにし、吊り元框側から緩めた六角ボルトを締め付けなおし、固定してください。

① サイズにより固定箇所
の数量は違います。
戸当り框、吊り元框、キ
ャスター取付け縦棧に、
各左右2ヶ所にあります。



7 落とし棒受けの埋込み

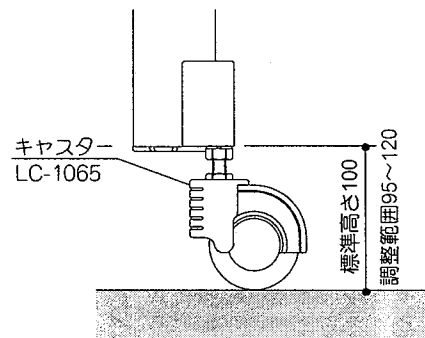
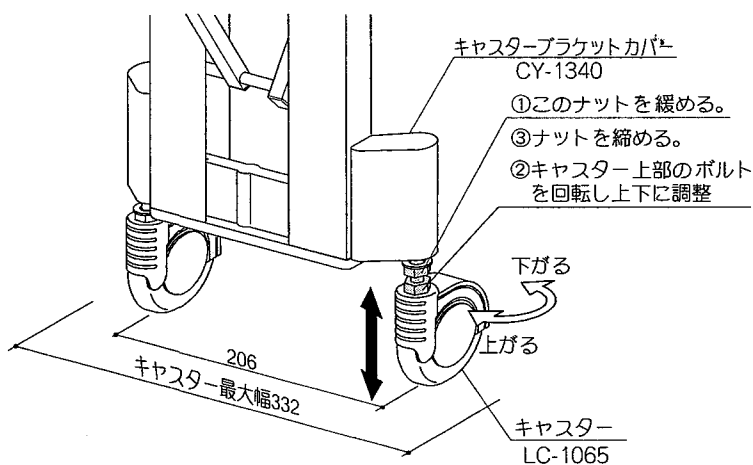
- 扉を閉じた状態で現場に合わせて落とし棒受けを埋込んでください。
- 先端落とし棒の落とし棒受けも同様に埋込んでください。
埋設位置・数量は、納まり図及び規格寸法表(P3~P5)を参照してください。



8 各種の調整

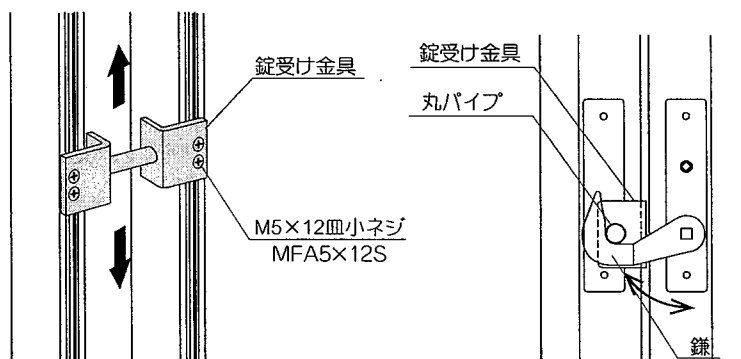
1. キャスター高さの調整

- ❗ キャスターの高さ調整の場合は、扉を閉じた状態で現場の状態に合わせて調整してください。



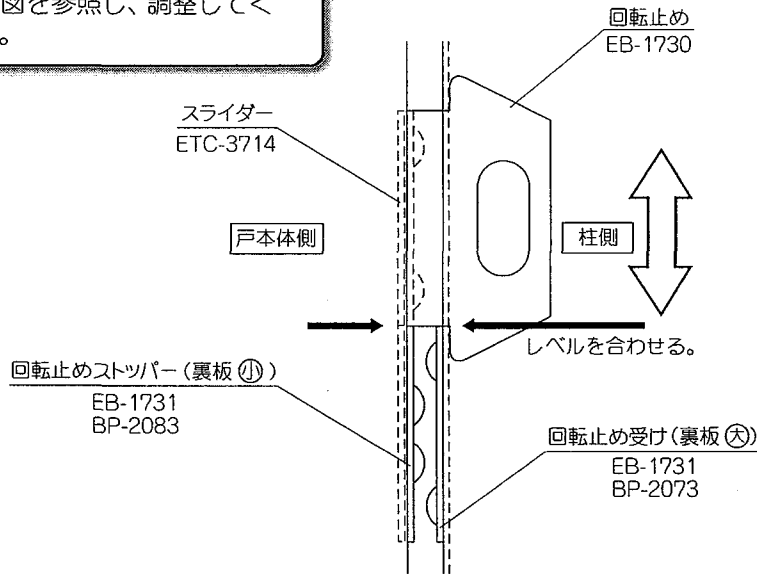
2. 錠受け金具の調整

- ❗ 錠・鎌を操作した時に、鎌が丸パイプに十分に嵌合するように調整してください。



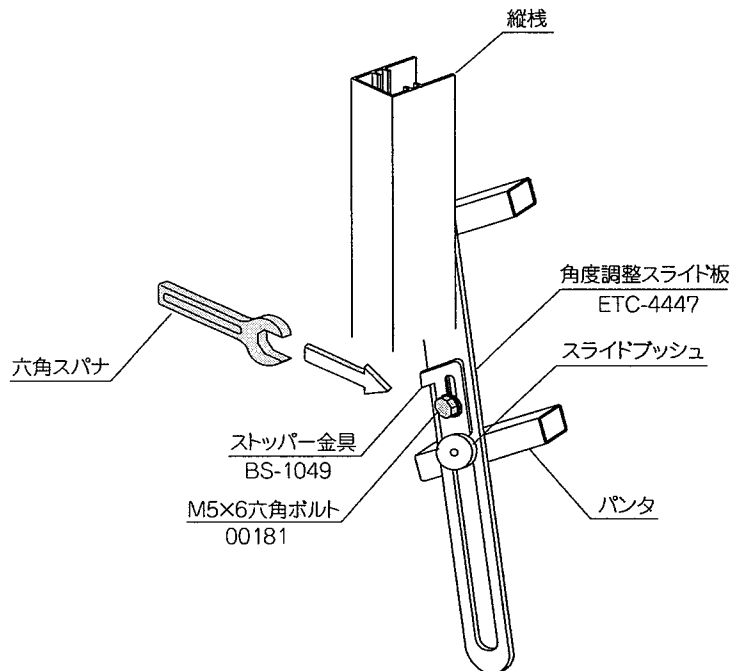
3. 回転止め金具の調整

❗ 回転止め金具が十分に動作する様に下図を参照し、調整してください。



4. ストッパー金具の調整

- ① 角度調整後、角度調整スライド板に取付けたM5×6六角ボルトを緩め、扉を閉めた状態でストッパー金具がパンタ材と結びついたスライドブッシュにぶつかるよう調整し、緩めたボルトを締め付けなおし固定してください。
- ② 角度調整スライド板には、各1ヶ所ずつストッパー金具が付いていますので、全てのストッパー金具を調整してください。



5. 転倒防止金具を使用の場合のキャスター高さの調整

- ① 転倒防止金具の取付け説明書に従い取付けてください。
- ② 床面を傷つけないようキャスターの高さ調整をしてください。
 上り勾配の場合……キャスターの高さを上げる方向で調整してください。
 下り勾配の場合……キャスターの高さを下げる方向で調整してください。
 勾配の角度により調整寸法は変わります。現場の状態に合わせて調整してください。